

教材名	ハムスターの赤ちゃん	教科書	教育出版（学研・東書・日文）	学年	1年
内容項目	生命の尊さ	生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすること。			
内容項目のとらえ方 (子どもの実態を踏まえ)	教科書の手引きにある「おかあさんはどんな気持ちで世話をしているのでしょうか」という発問は、母性本能を強調し、「育てるのは母親」という価値観を刷り込むので扱わない。母親・父親と一緒に育てている様子、一人で生き抜く様子など多様な育ち方を通して、自然の中で生き抜く命の重さに気づかせる。				
授業の展開					
子どもたちの活動			指導上の留意点		
<p>1. 「ハムスターの赤ちゃん」を読む。</p> <p>2. 話を読んで思ったことを出しあう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ハムスター、かわいい」 ・「うちにもいるよ」 ・「私も飼いたくなった」 ・「うちにはカメがいるけどかわいいよ」 ・「前に飼っていた犬が死んだとき悲しかった」など </div> <p>3. いろいろな動物の子どもが育つ様子を写真等で見て、「育てているのは誰？」か考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>例</p> <p>ライオン、ウミガメ、象、タツノオトシゴ、など、動物たちの多様な育て方・育ち方を写真などで紹介。</p> </div> <p>4. さまざまな育て方について知った感想を出しあう。</p>			<p>ハムスターの写真を見せながら、本文の内容だけに限らず、動物や昆虫や植物と接した体験などを想起させながら、思ったことを自由に出させる。命のいとおしさやぬくもりを感じさせる。</p> <p>厳しい自然界で「一人」で育っていく姿、父親・母親と一緒に育てる姿、母親だけ、あるいは父親だけが育てる、など多様な育て方・育ち方を示す。生き抜くこと・命の重さに気づかせるとともに、「母性本能は大切」「育てるのは母親」という概念を揺さぶる。</p> <p>何種類かの動物の家族の写真をみて、クイズ形式で子育てをしているのは誰かなどを考えさせるのもよい。</p> <p>配時に応じて多様な子育ての様子を子どもたちに伝える。</p> <p>オープンエンドで終わる 「命は大切」「母親の愛情」などというところでまとめないように。</p>		